

【 山口県美祢市立美東中学校 】

1 施設等の概要

《職員》 総計 18 名（職員：16 名 非常勤：2 名）

《生徒》 105 名（1 年 29 名、2 年 29 名、3 年 45 名、特別支援 2 名 計 5 クラス）

山口県の小・中学校における学校運営協議会の設置率は 100%

美東地域拡大大学校運営協議会「みとうこぶっちゃんネット」（4 小学校と 1 中学校から成る。）

長登銅山跡地が近くにある。 → 大仏ミュージアム（長登銅山文化交流館）

ふるさと学習の集大成として、銅山ガイド（英語によるガイド）

修学旅行で奈良の大仏見学

2 感想（質問）等

（1）山口県の小・中学校における学校運営協議会の設置率は 100%である。

→ 県教委が中心となり、各市町村に学校運営協議会のモデル校を指定し、その後、全小・中学校に設置

（2）小・中学校の連携がよくとれている。

家庭学習時間の目安として学年×15分を目標としている。

中学校のテスト週間に合わせて、小学校も家庭学習がんばり週間として、家族ぐるみで家庭学習の習慣化に取り組んでいる。

小・中交流授業 → 関係小学校 4 校の 6 年生児童が美東中学校で授業を受ける。

中学校教諭が学校に出向き授業を実施（理科、体育、音楽等）

（3）ふるさと学習の一環として、地域との連携がよくとれている。

中学生がリーダーシップを取り子ども会の活動を行う。

4 泊 5 日の研修を実施（バス等の予算は社会教育課の予算）

部活動の年間計画を学校で取りまとめ公民館等と日程調整し、地域に関わっていく。

【 山口市立白石中学校分教室 】

1 施設等の概要

目的 ・通学していた学校で、いろいろな辛い思いをした生徒が、自分の将来を真剣に考え、学校生活を再スタートさせるところ。

・高校に進学する学力と高校 3 年間で過ごす生活力（周囲とうまくつきあう力）を身につけるところ

本年度在籍生徒：（11 月現在）第 1 学年 2 名、第 2 学年 2 名、第 3 学年 10 名、男子 6 名、女子 8 名）

不登校生徒（中学生を対象）のための「新たな学びの場」とする。

→ 高校進学へ向けた学力向上

教育課程（日課表）を編成して授業を行う。

原則、すべての教科の指導をする。

1 日 6 時間の授業を行う。 学習評価を行う。

白石中学校へ転校し、卒業することになる。

本校の行事にできるだけ参加させる。（始業式、終業式、修学旅行、文化祭、体育祭等々）

2 感想等

（1）対費用効果で課題が残る。 → 施設のみで 3,500 万円

（2）運営の主体（県、市、学校）がはっきりしていない。

（運営の規約がまだまだ確立していない。 → 県立か市町村立か？）

（3）分教室は登校できることが前提であり、

完全不登校の生徒を受け入れ続けるとその対応が増える。

（4）生徒が入校（入室）しないと、学級減となり（教員減となり）分教室の運営ができない。